

## 中学部 2 年 生活単元学習 学習指導案

日 時	平成 2 4 年 ○ 月 ○ 日 (○) ○ : ○○ ~ ○○ : ○○
場 所	○○ 教室
指 導 者	○○○○○ (T 1) ○○○○○ (T 2)

### 1 単元名 「オレたちの仕事をはじめよう」

#### 2 単元設定の理由

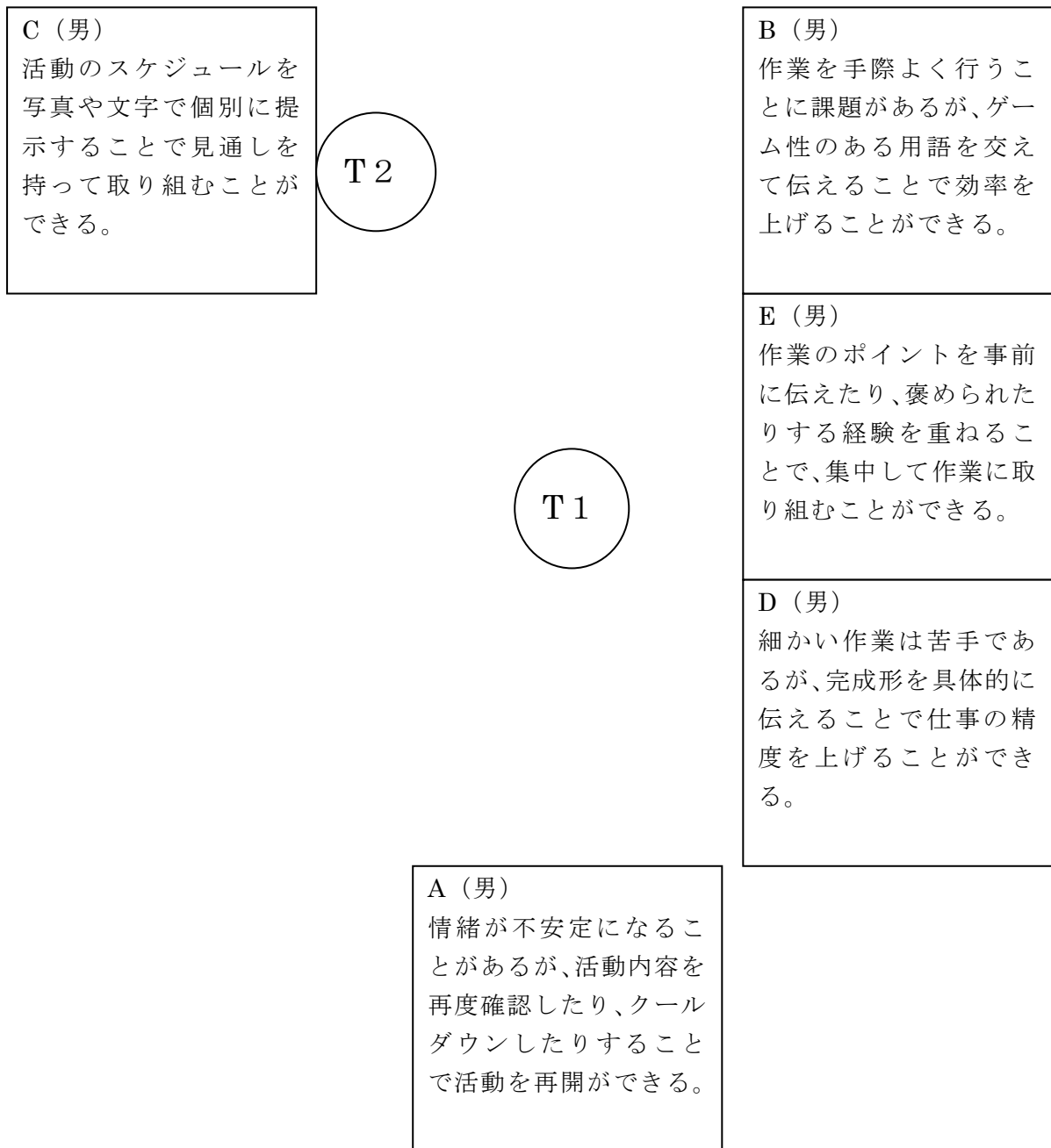
本学年は、男子 5 名で構成されている。主たる障害は知的障害であり、自閉傾向のある生徒が 3 名いる。中には強いこだわりや情緒面において課題のある生徒もおり、授業の中で気持ちの切り替えができる活動を取り入れるといった配慮を要する。言語面については、日常会話がほぼ成立する生徒、発語は不明瞭だが会話ができる生徒、自分の要求を言葉で伝えることができる生徒、発声やカードなどを使って要求を伝えようとする生徒がいる。集団で活動する場面において、クラスをまとめたり、友だちに誘いかけたり、誘いかけに応じて行動したりするなど生徒たちだけで活動できる場面もあり、まとまりがある。しかし、一方で身だしなみや話を聞くときの姿勢、言葉遣い、手先を使った細かい作業を課題としている。

本単元では「働く」ことをテーマとした授業を展開していく。昨年度はクラスで茶屋を開き、たくさんのお客さんにおもてなしを行うことを通して「感謝・賞賛」される喜びを味わうことができた。今年度は昨年度得た経験を基盤とし、他者に依頼された仕事を行うという設定の下、活動をしていく。中学 3 年生の校内実習、高等部の現場実習といった、仕事に関する今後の学習に向けて、様々な場面・内容で働く体験する機会として本単元を設定した。仕事の内容は仕分け、袋詰め、楊枝さし作りといった 1 ~ 3 工程ほどの単純明確な作業内容である。目標の時間や個数を達成することをねらう生徒から、袋の中の空気を抜いて封をする、折り紙の角をそろえて折るといった、精度をねらう生徒まで、同じ作業内容の中でねらいに応じて工夫しやすいものを用意した。また、様々な場で働く人たちの様子を見学したり、経験したりできるように、校内・校外実習の見学や校外学習先での就業体験を設定し、教室以外の場でも働くという場面を設定した。

毎回授業の初めに、作業着と名札を着用する。活動に対する意欲を高めたり、見通しを持ったりする他、身だしなみを整えることをねらいとした。そして、頼まれた仕事をする事が明確にわかるように、担任外の教員から直接仕事をもらい、仕事が終わったらその教員に仕事を納め、給料が支払われる、といった活動の流れを設定した。この流れを毎回行うことで、全ての生徒が活動に見通しが持てるようにした。また、仕事は一定の期間で変化させていき、様々な仕事を経験できるようにした。仕事をして、もらった給料で週末に駄菓子屋へ買い物に行くことで、短い見通しで期待を持って仕事をしたり、仕事、給料、買い物という流れを繰り返し体験できるようにした。給料は最小限の買い物ができる額(10 円)を設定した。貯めたお金を透明なケースに入れ、いつでも確認できる場所に掲示することで、買い物に期待して仕事に取り組めるようにした。

本単元を通して働く事の大変さや喜びを知り、今後の職業学習へのきっかけとなることを望む。

# 黒板



#### 4 ユニバーサルデザインの視点

##### (1) 見通しが持てる授業

工程表や授業の流れの掲示などを多用し 1 授業内の見通しが持てるようにするとともに、短期的な学習の反復をすることで単元の見通しが持てるようにする。

【視点 5、6、7、8】

##### (2) 視覚的にわかりやすくする。

イラストや掲示を利用し、具体的に確認できるようにするとともに、端的に伝わるようにする。【視点 3、4、8、9、12】

##### (3) 個別の配慮を行う。

教員の付き方や個に応じた工程表、また、活動内容を精選し実態に応じた活動や場を設定する。 【視点 1、2、10、11】

など

#### 5-1 単元の学習

##### (1) 共通目標

○与えられた役割を最後まで行うことができる。

##### (2) 個人目標

A：与えられた量を最後まで行うことができる。

B：与えられた量を効率よく行うことができる。

C：与えられた量を最後まで行うことができる。

D：細かい部分に注意して丁寧に行うことができる。

E：2つ程度のポイントを守り、最後まで行うことができる。

##### (3) 指導計画

次	学習活動	時間
1	オレたちの仕事 ～仕事をはじめよう～	2 h
2	オレたちの仕事①	2 h
3	給料で買い物をしよう①	1 h
4	オレたちの仕事②	1 h (本時6 / 14)
5	オレたちの仕事③ ～外で働こう① 就業体験	1 h
6	オレたちの仕事④	1 h
7	オレたちの仕事⑤ ～外で働こう② 就業体験	1 h
8	給料で買い物をしよう②	1 h
9	仕事を見学しよう 校内実習の見学	1 h
10	オレたちの仕事⑥	2 h
11	給料で買い物をしよう③	1 h

## 5-2 本時の学習

### (1) 共通目標

○与えられた量の製品を作ることができる。

### (2) 個人目標

A：見本通りに作業を行うことができる。

B：手順を守り、効率よく折ることができる。

C：与えられた量を最後まで行うことができる。

D：細かい部分に注意して丁寧に行うことができる。

E：2つ程度のポイントを守り、最後まで行うことができる。

(3) 本時の展開

	学習内容・ 予想される反応	指導上の留意点 (◆ユニバーサルデザインの視点)			☆評価	
		A (男)	B (男)	C (男)	D (男)	E (男)
課題 の 把握	・あいさつ	◆椅子だけにして正しい姿勢で礼ができるようにする。【視点1、3】				
	・身支度の確認	・号令を行う際に教員が きっかけになる言葉 掛けを行う。	・事前に膝を曲げないで 立位が取れるよう教 員が指示する。	・教員が横に立ち一緒 に礼をする。	・事前に目線を合わせて 礼ができるよう教員が 指示する。	・事前に手、足の位置 を教員が指示する。
問題 の 解決	・前時を振り返り、 本時の目標を確認 する。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">                     オレたちの仕事 ～働いて好きな物を買おう～                 </div>				
	・合言葉を言う	◆写真を用意することで、前時の振り返りができるようにする。【視点8、11】				
	・仕事をもらう	◆イラストをつけ、本時の目標を掲示することで、活動に取り組む意欲が高まるようにする。【視点7、8、10、11】				
		◆本時の活動の流れを黒板に明記するとともに、現在の活動がわかるようにする。【視点5】				
		・前時の買い物を振り返 れるよう、写真を用意 する。	・前時の買い物学習で買 った物を質問する。	・前時の買い物を振り 返れるよう、写真を 用意する。	・前時の買い物学習で買った物を質問する。	
	・全員が言えるように、一人が先に言い復唱するようにする。【視点10、11】	◆いつでも確認できるように合言葉表を掲示しておく。【視点7、8】				
	・教員がきっかけとなる 言葉を言うことで、言 えるようにする。	・正しく言えるよう掲示 を見ながら行うよう にする。	・教員と一緒にジェス チャーをすることで 行えるようにする。	・後に続いて言えるよ う、ゆっくりはっきり 言うよう伝える。	・テンポ良く言えるよう に合言葉にリズムを つける。	
		◆行先・相手がわかるよう言葉と写真で伝える。【視点5、8】				
		◆入退出時に「失礼します、失礼しました」といえるよう事前に練習する。【視点3】				

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行先と相手がわかるよう個別に写真を提示する。</li> <li>・「失礼します」が言えるよう教員がきっかけとなる言葉を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔を見て箱を受け取ることができるよう、視線が合ってから渡すようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行先がわかるよう個別に写真を提示する。</li> <li>・教員が言葉をかけつつ一緒に礼をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノックして入室できるようドアを閉じておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔を見て箱を受け取ることができるよう、視線が合ってから渡すようにする。</li> </ul>
問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事内容の確認</li> <li>・各自の仕事を知る</li> </ul>	<p>◆活動に見通しを持って取り組めるよう、見本を見せたり手順表を用意したりする。【視点 5、10、11】</p> <p>◆活動の終わりが分かるよう、各自に量を提示したり、全体の終了時間を時計版で掲示しておく。【視点 5、9】</p> <p>◆作業に取り組みやすいよう机を配置する。【視点 1】</p>				
		<p>《アイロンビーズの袋詰め》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜休憩を入れて最後まで行えるようにする。</li> <li>・2色のアイロンビーズを1色ずつ箱に入れておく。</li> </ul> <p>☆渡された全てのアイロンビーズを2つずつ袋に入れることができる。</p>	<p>《楊枝さしの袋折り》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見本を見ながら、角をそろえて折り紙を2回折る。</li> <li>・10個ずつ検品を行い、時間や数量のチェックを行う。</li> </ul> <p>☆時間内に50枚の袋を、角をそろえて折ることができる。</p>	<p>《アイロンビーズの弁別》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と一緒に混合されたビーズを指定の箱に弁別していく。</li> <li>・入れる箱に色紙を貼っておき、場がわかるようにしておく。</li> </ul> <p>☆箱に入ったビーズを全て弁別することができる。</p>	<p>《アイロンビーズの袋詰め》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に仕事ができるように、ポイントとなる場所(袋の口を密封する・空気を入れない)を文字で提示する。</li> <li>・10個ずつ検品を行い、時間や数量のチェックを行う。</li> </ul> <p>☆50個以上の製品の口を空気を入れないで閉じることができる。</p>	<p>《楊枝さしのテープ止め》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・端を印に合わせる・はさみを机に沿わせることで指定の長さにテープが切れるようにする。</li> <li>・10個ずつ検品を行うことで、注意点のチェックを行う。</li> </ul> <p>☆楊枝さしからはみ出さずにテープを貼ることができる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付け</li> </ul>	<p>◆用具をもとの位置に戻すことができるよう、場を明示する。【視点 1、11】</p> <p>◆製品と部品を分けて戻すよう全体指示を行う。【視点 9】</p>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と一緒に片付けを行い、一つ一つ言葉かけで片付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品と部品を分けて片付けることができるよう、報告を受けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と一緒に片付けを行い、一つ一つ言葉かけで片付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品と部品を分けて片付けることができるよう、報告を受けるようにする。</li> </ul>	
・納入	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆行先・相手がわかるよう言葉と写真で伝える。【視点 5、8】</li> <li>◆入退出時に「失礼します、失礼しました」といえるよう事前に練習する。【視点 3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔を見て箱を受け取ることができるよう、視線が合ってから渡すようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が言葉をかけつつ一緒に礼をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノックして入室できるようにドアを閉じておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔を見て箱を受け取ることができるよう、視線が合ってから渡すようにする。</li> </ul>
・給料をもらう	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆報酬を受ける喜びが感じられるよう、一人ひとり手渡しする【視点 11】</li> <li>◆報酬を入れる袋を掲示することで視覚的にわかるようにする。【視点 1、10、11】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬をもらったときにお礼が言えるよう、「どうぞ」と言葉掛けを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を見て受け渡しができるよう、視線が合ってから渡すようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬をもらった時に礼ができるよう、教員と一緒に礼をする、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を見て受け渡しができるよう、視線が合ってから渡すようにする。</li> </ul>
まとめ ・振り返り ・自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆がんばったことや今日行った活動を言ったり、活動の様子をジェスチャーで伝える。【視点 11】</li> <li>◆姿勢のマナーを掲示し、言葉掛けを行うことで良い姿勢で聞けるようにする。【視点 3、12】</li> <li>◆拡大したワークシートをもとに、記入の仕方の見本を見せる。【視点 7、11】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動中の写真や実際にできた製品を提示したり、実演したりできるように用具を準備する。</li> <li>・教員と一緒にワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詰まったときには発表ができるように補助発音を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動中の写真や実際にできた製品を提示したり、実演したりできるように用具を準備する。</li> <li>・教員と一緒にワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詰まったときには発表ができるように補助発音を行う。</li> <li>・本時の注意点を発表することで、活動の振り返りとする。</li> </ul>